

2014年10月20日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

ベトナム・ダナン医薬技術大学の学長らが本学を訪問 日本の先進的な高齢者介護、看護を視察

ベトナム・ダナン医薬技術大学のグエン キャク ミン学長らが10月23日、中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに同短期大学部（学長 片桐 多恵子）を訪問します。

ダナン医薬技術大学は、ベトナム保健省立の国立大学で、看護学科、リハビリ学科、医療検査技師学科、薬学科など、医療専門職の教育機関。卒業生はベトナム中部のダナン市を中心に多くの病院で活躍しています。その医療専門大学が、ベトナムの来るべき高齢化に備えるため、日本の先進的な高齢者介護、看護を学びたいと、社会福祉法人千寿会（瑞浪市・原 正昭 理事長）を通じて本学に依頼がありました。

千寿会は、4年ほど前から経済連携協定（EPA）を通して同大学と交流がありました。原理事長が同大から相談を受け、日本の介護教育のリーダー的立場にある本学を紹介し、このたびの訪問に至りました。

今後、本学は、ダナン医薬技術大学に協力し、ベトナムの高齢化に対応できる、看護・介護人材の養成に協力する予定です。12月には人間福祉学部の飯尾良英教授をベトナム保健省とダナン医薬技術大学に派遣し、支援事業をスタートさせる予定にしています。

ベトナムでは今後、経済の発展、生活様式の変化、医療技術の向上により、高齢化が進み、生活習慣病などの慢性疾患や精神疾患等の増加が見込まれています。これに伴って、高齢者に対する老年ケア（老年看護・介護の知識と技術）の取り組みが求められています。日本はこれまで、看護技術の向上に加え、介護の専門性を確立することで、生活モデルによる障がいの軽減と重度化の予防を図ってきました。その日本の老年ケアをベトナムに伝えていきたいと考えています。

記

- 日 時 2014年10月23日(木) 午前9時30分～11時
- 場 所 中部学院大学 関キャンパス (関市桐ヶ丘2丁目1番地)
- 訪問者 ダナン医薬技術大学 グエン キャク ミン 学長 ほか6名
同行 社会福祉法人 千寿会 (瑞浪市) 原 正昭 理事長
- 日 程 歓迎のあいさつ 古田 善伯 大学学長 片桐 多恵子 短期大学部学長
ダナン医薬技術大学あいさつ ミン 学長
社会福祉法人千寿会あいさつ 原 理事長
出席者紹介
記念写真撮影
キャンパス見学 (介護棟、看護棟、リハビリ棟、図書館など)
大学教員との懇談

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 地域連携推進センター センター長 飯尾 良英 (人間福祉学部 教授)

TEL:0575-24-2211 (関キャンパス) Mail : iio@chubu-gu.ac.jp